



## 鳥羽の「サメ春巻」がSea級グルメ全国大会で優勝！

10月31日・11月1日の両日、鳥羽マリンターミナル緑地公園で「みなとオアシスとばSea級グルメ全国大会in鳥羽」が開催され、延べ2万人を超える来場者で賑わいました。

この大会には、全国のみなとオアシスから16団体が出店し、それぞれの地元で水揚げされる海産物を食材とした料理で美味しさを競いました。

来場者による人気投票では、地元から出店した鳥羽マルシェの「サメ春巻」が見事優勝し、大会を盛り上げました。



## 美味しいごはんが大きくってね

10月22日、市農業委員会から鳥羽で穫れた新米80kgが市立保育所の子どもたちに贈呈されました。

この事業は、未来の鳥羽を担う子どもたちに農業に関心を持って貰うことと、農産物の地産地消を目的として、平成23年から今回で5回目となります。

子どもたちは、農業委員のかたから5kg入りの米を手渡され「おもい」「大丈夫」などと言いながら米を運びました。



## サンタバーバラ市親善使節団が鳥羽へ

鳥羽市は、アメリカ合衆国のサンタバーバラ市と昭和41年3月に国際姉妹都市の提携を結んで以来、平成28年で50年を迎えます。この50周年を迎えるにあたり、プレイベントとしてサンタバーバラ市の親善使節団が鳥羽を訪れました。

11月16日に行われた歓迎会では、日本舞踊やよさこいが披露され、親睦と交流を深めました。また16日・17日には、ミキモト真珠島や鳥羽水族館などを見学し、鳥羽を満喫していました。



## 鳥羽の賑わいの風景を100号の油絵で

11月2日、伊勢市在住で画家の中村仁志さんから、油絵「志摩の正月 答志島にて」が市へ寄贈されました。

中村さんは、伊勢志摩や鳥羽の風景画を描くことをライフワークとしており、この作品は10年前に100号の大作として描かれたものです。「飾ってもらうことで、伊勢志摩サミットや伊勢志摩国立公園70周年記念の応援になればいい」との思いから寄贈していただきました。

寄贈していただいた油絵は、市民文化会館・大ホール前に飾られています。